

令和5年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金
(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)
分担研究報告書

HPV ワクチンなどのワクチン接種後に生じる種々の症状についての調査と
その対応方法に関する研究

研究分担者 天谷 文昌

研究要旨

HPV ワクチン接種後の症状について、ISRR を中心として拠点病院を受診した患者の臨床データを収集できるシステムを構築するため、患者調査項目の妥当性を検討した。現時点では調査項目に問題を認めないが、さらに患者を集積して検討する必要がある。

A. 研究目的

HPV ワクチン接種後の症状について、①ISRR を中心として拠点病院を受診した患者の臨床データを収集できるシステム作り、②HPV ワクチン以外のワクチンでも同様の症状が起きているかどうかの予備的検討③過去に良くなった症例の調査、またそれらのデータに基づいて、現在用いられている④「HPV ワクチン接種後に生じた症状に関する診療マニュアル」のブラッシュアップを具体的な研究目的とする。

B. 研究方法

①について、「HPV ワクチンの安全性に関する研究」(研究代表者:岡部信彦)で行っている、アンケート等を用いたサーベイランス調査と連携し、協力医療機関で診療された患者情報が拠点病院で把握できるようにするため、必要な患者情報を吟味する。

(倫理面への配慮)

本研究については、愛知医科大学倫理委員会および研究班所属施設の倫理委員会を通して行っている。

C. 研究結果

患者情報として検討中の調査項目とその妥当性の検討を行った。現時点で調査項目に不合理はない。

D. 考察

患者情報の把握にむけた準備がすすんでいる。現時点では調査項目に問題を認めないが、さらに症例数を増加させて検討する必要がある。②-④も引き続き検討する。

E. 結論

患者情報の把握にむけ、調査項目の吟味を行った。②-④も引き続き検討する必要がある。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Iseki M, Yamamoto T, Ogawa Y, Majima Y, Abe Y, Watanabe D, Amaya F, Hasegawa T, Inafuku K, Kosugi T, Nomura Y, Deguchi T, Hamada T, Shimizu K, Arai S, Takahashi M, Hamada I, Ishikawa Y, Kawashima M. Efficacy and safety of intravenous fosphenytoin for patients with acute herpes zoster-associated pain: A placebo-controlled randomized trial. J Dermatol. 2024;51(2):234-242.
- 2) Kanamori A, Hinaga S, Hirata Y, Amaya F, Oh-Hashi K. Molecular characterization of wild-type and HSN2B-linked FAM134B. Mol Biol Rep.

2023;50(7):6005-6017.

- 3) Yamakita S, Fujita D, Sudo K, Ishikawa D, Kushimoto K, Horii Y, Amaya F. Activation of neurons and satellite glial cells in the DRG produces morphine-induced hyperalgesia. Mol Pain. 2023;19:17448069231181973.
- 4) Oya R, Ogawa S, Oya K, Hirakawa Y, Maeda C, Amaya F. Prevalence of preoperative opioid usage and its impact on postoperative outcomes: a retrospective cohort study. J Anesth. 2023;37(4):532-538.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし